

みなさんは、技術士第二次試験を受験する際に勉強した必須科目(技術部門全般にわたる専門知識)の内容を覚えているでしょうか？

私が第二次試験を受験した時の必須科目は択一式でしたが、心配性の私は択一对策にも多くの時間を費やした記憶があります。

その成果もあり、択一で不合格となることはなく技術士を取得することができました(選択科目で複数年にわたり不合格となりましたが……)。その後、私は公務員の宿命である人事異動により、取得した科目とは異なる分野の部署への配属となりました。

新たな配属先は、これまでとは違う専門用語が飛び交う世界であり、ド素人の私はとても自分が技術士であると言える状況にありませんでしたが、どの用語もどこかで聞いたことのあるものでした。

この用語は国土交通白書に説明があったなあとか、この法律の概要はこうだったなあなど、それら頭の片隅にあった知識は択一对策で勉強した知識であり、その内容を覚えていた自分に驚いております。

技術士は、資格を手に入れたそのときから高等な知識を備えた人材だと周囲の人は思います。たとえ自分の取得した科目以外でも専門部門の内容ならば相応の知識を備えていることが求められるものです。

技術士受験の時には、専門科目に力を入れがちになりますが、必須科目で勉強した幅広い分野の知識が今では役立っていると思っております(まだまだ知識は足りていませんが……)。

この経験を糧にして、これからも建設部門の技術士として恥ずかしいことのないよう、部門全般にわたる知識の研鑽を続けていこうと思う今日此の頃であります。

木下 春樹(きのした はるき)

●建設部門(港湾及び空港)

勤務先

函館市役所
都市建設部都市整備課



→次号は、飯田 誠さん(建設部門・水産部門)

～散髪代金が無料になりました～

今までのみなさんと同様、髪の短いまたは少ない繋がりですのでその話題を選びます。この髪型を採用している人たちは、洗髪後は乾きが早いのが利点です。欠点は、髪型が変えられないこと、散髪代は髪の量と無関係に、一律料金なことです。散髪代節約のため、何度か自宅での散髪にチャレンジして来ましたが、良い道具が見つからなかったこと、掃除が大変なこと、きれいに仕上げるには人の手が必要なことから、挫折の連続でした。

ところが、今年の春からは違います。ボウズカッター ER-GS60 を見つけました。これは画期的な散髪道具です。防水のハンディ充電式なのでお風呂場で使用しております。短い髪の処理は、最初の1回は新聞紙で集めて捨てましたが、その後は切り髪が短いので排水口にそのまま流しております。まったく問題ないようです。また、バリカン方式なので、自分ひとりでも手探りで後ろ側もきれいに仕上げる事が出来ます。なんと、11段階の切り高に調整が可能です。一番長い切り高が10mmで、段階的に1mmずつ9mm、8mm、……3mm、2mmと調整できます。さらに別途1mmカートリッジに取りかえたり、カートリッジなしで0.5mmの最短切り高にしたり、全部で11段階の切り高を選ぶことが出来ます。私は、最初は5mmから始めました。1ヶ月後には4mmへ。だんだん短く仕上げる事が癖になってきます。夏には3mm、後頭部は2mm。秋には全体が2mmに突入しました。ちなみに口ひげやあごひげも2mm～1mmで便利に活用しております。そして12月に入ってからは全体を1mmに統一しております。ここまでくると白髪も目立ちません。毎日～隔日で楽しく散髪している毎日です。

米川 康(よねかわ こう)

●応用理学/総合技術監理部門

勤務先

明治コンサルタント株式会社



→次号は、高久芳男さん(応用理学部門)